

広島大学 (前期日程)

素点欄にし
は記入し
ないこと

素点番号
素点

I
II
III

令和二年度
入学試験問題
解答用紙

国語

国語総合・現代文B・古典B

第一問

a	過剰
b	解析
c	尚早
d	妨
e	不祥事

1/2

第二問

残された人生の内容の質が実際に低いのではなく、特定の社会が勝手に決めつけたものにすぎないことを示す意図。

第三問

より質の高い生への希求という特定の価値観を背景にして、人の命を人為的にコントロールしている点。

第四問

1 美しい
2 良い

延命治療の差し控えや中止ばかりか、医師による患者の自殺の補助も含めたものでもあるのに、耳に聞こえないまま成立させた。死の内容を十分に検討させないまま成立させた。

第五問

尊厳のない状態なら死んだほうが良かったですと人々に思わせ、また尊厳のない生が何によってもたらされているのか、という問いを妨げること。

第六問

正しい情報提供がなされないと、人工呼吸器の装着は、治療や回復にはつながらず、本人の生活や人生の充実には全く寄与しない悪い意味の延命治療でしかなく、それは避けられるべきものとされるということ。

第七問

尊厳	死	延命	治療	存在	社会的	背景	内容
吟味	を	させ	ること	なく	な	の	の
延命	治療	は	避ける	べき	もの	と	人々
延命	治療	は	避ける	べき	もの	と	人々
延命	治療	は	避ける	べき	もの	と	人々

(以上百字)

第二問

① 使役の助動詞「す」の連用形
② 尊敬の助動詞「す」の連用形
③ 五段活用助動詞「す」の書体活字尾

第三問

ア 私以上の者はまだないだろう。
イ 「まだな」事と似たな。
ウ 日々を過シレスおります。
エ 気の毒な御事マシないます。

広島大学 (前期日程)

問三 1 女房

2 もなし給へ

問四 d

問五 1 親の死別

2 雨が濁れく露もなかならうように、流す涙もまたくはないのだ。

問六 1 嘆き

2 紅花の色がそれとは、さりわがさよに、私の恋の色も顔色に表れ、その思いしているのかと人が問うとよ。

問七 自分たちの苦しみを悟り、同様、身内をなくした者の立場から同情してこればかり。

問八

バ	嘆
よ	き
い	や
	根
	み

 をやりすこし、敵討りをやめ、鎌倉へ帰るの
 (以上三十字)

第三問

問一

a	みなみのかた
b	ますます
c	かつて
d	こころもつて
e	のみ

問二 劉表が劉備を新野に迎えたのに、荊州の豪傑が劉備につき従う者が増え、だから。

問三 宴席で劉表が、戻ってきた劉備の涙を流す様子を見て、泣く理由を問うた。

問四 (1) じつげつはしるがんとく、おいませいくたらんとす。
 (2) 月日は走まよふ早と過ぎ去り、老いは松に迫ってまよふといふがた。

問五 オ

問六 ウ

問七 満腹して眠っている狼犬は、騎乗する機会がなく内々の裏に贅肉が、ついに英雄劉備と同じように自分な能力を發揮できずいた。